

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月15日

計画の名称	野田市における公共下水道の推進（重点計画）														
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	野田市														
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,744	A	1,744	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	公共下水道 144haの区域整備により 処理人口普及率を64.8%（H28当初）から 67.7%（H32末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	65%	67%	68%
	下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	五駄沼 1 号幹線整備（普 及促進）	L=0.2km Φ250mm	野田市	■	■	■			37		-
	A07-002	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	尾崎 2 号幹線整備（普及 促進）	L = 0.2km Φ200mm	野田市		■	■			134		-
	A07-003	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	七光台幹線整備（普及促 進）	L=1.2km Φ200mm ~ Φ250mm	野田市	■	■	■			301		-
	A07-004	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	閑宿第 1 処理分区枝線整 備（普及促進）	L=0.2km Φ200mm	野田市			■			24		-
	A07-005	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 1 － 1 処理分区枝 線整備（普及促進）	L=0.3km Φ200mm	野田市		■	■			47		-
	A07-006	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 1 － 2 処理分区枝 線整備（普及促進）	L=0.8km Φ200mm	野田市	■	■	■			101		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 1－3 処理分区枝 線整備（普及促進）	L = 1.1km φ200mm	野田市		■	■			134		-
	A07-008	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 2－1 処理分区枝 線整備（普及促進）	L = 0.8km φ200mm	野田市	■	■	■			100		-
	A07-009	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 2－2 処理分区枝 線整備（普及促進）	L = 1.0km φ200mm	野田市	■	■	■			130		-
	A07-010	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 2－3 処理分区枝 線整備（普及促進）	L = 1.0km φ200mm	野田市	■	■	■			130		-
	A07-011	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 4 処理分区枝線整 備（普及促進）	L = 1.7km φ200mm	野田市	■	■	■			204		-
	A07-012	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 5 処理分区枝線整 備（普及促進）	L = 1.6km φ200mm	野田市	■	■	■			201		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-013	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 6 － 2 処理分区枝 線整備（普及促進）	L = 1.5km φ 200mm	野田市	■	■	■			179		-
	A07-014	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠（ 污水）	新設	野田第 6 - 1 処理分区枝 線整備（普及促進）	L = 0.2km φ 200mm	野田市			■			22		-
											小計						1,744		
											合計						1,744		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
野田市公共下水道運営審議会にて事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を行う。	令和4年2月
	公表の方法
	事後評価後、野田市ホームページにて公表する。
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公共下水道整備により下水道処理人口普及率を64.8%から69.3%へと増加が図れた結果、安全・安心、快適な暮らしの実現に対して一定の効果が得られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	公共下水道整備を行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境の改善に一定の効果が得られた。
○特記事項（今後の方針等）	
下水道処理人口普及率の増加を図るため、引き続き次期整備計画においても公共下水道の普及促進に努める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	68%	
	最 終 実績値	69%	